

■ 略 歴

北欧を拠点に、ジェンダー格差の視点から政治や経済を実証的に解きほぐす若手研究者。2012年、東京大学経済学部卒業。同大大学院経済学研究科修士課程を経て、エール大学で経済学博士。20年9月からスウェーデンのウプサラ大学助教授。専門は実証政治経済学、労働経済学。東京大学政策評価研究センターの招聘研究員を兼務。

奥山陽子氏



ノーベル経済学賞にゴールドフィン氏 奥山陽子 ウプサラ大学助教授

### 男女賃金格差の解明に貢献

【注】女性の賃金の中央値と男性の賃金の中央値を下回る比率  
【出所】経済協力開発機構(OECD)

**ポイント**

- ・新データ発掘で女性就業率の通説を覆す
- ・賃金格差に仕事の食欲が影響すると実証
- ・日本はジェンダー平等へ事実掘り下げ

「新データ発掘で女性就業率の通説を覆す」  
「賃金格差に仕事の食欲が影響すると実証」  
「日本はジェンダー平等へ事実掘り下げ」



2023年のノーベル経済学賞受賞、米ハーバード大学クラウドディア・ゴールドフィン教授(写真:AFP/アフロ)

ノーベル経済学賞にゴールドフィン氏 男女賃金格差の解明に貢献, 経済教室, 日本経済新聞 (2023.10.20)

2024. 3. 11

# 3月例会

日時 令和六年三月十一日(月)

テーマ 中国の国内情勢から見た米中「競争」

講師 東京大学大学院総合文化研究科 教授 川島真氏

川島真氏

## ■ 略 歴

東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻(東洋史学)博士課程修了、博士(文学)。1998年 北海道大学法学部政治学講座助教授、2006年 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻(国際関係史)准教授を経て現職。専門はアジア政治外交史。著書に『中国近代外交の形成』(サントリー学芸賞)、『中国のフロンティア』(岩波書店)、『21世紀の「中華」』(中央公論新社)、『20世紀の東アジア史』(共編著、東京大学出版会)、『ユーラシアの自画像』(共編著、PHP出版)など多数。2023年、外務大臣表彰。



川島真氏

米中対立の行方 ④ 川島真 東京大学教授

### 「戦狼外交」との関係管理 難題

**米中対立の構図**

- 2049年に「社会主義現代化強国」
- 共産党中央外事工作委員会設置
- 外交部への監督実施: 習近平外交思想の継承
- 「国家の安全」重視: 反スパイ法強化・外交官警戒
- 反先進国: 中国の強自性を強調する国内宣伝
- 覇権権の基める管理統制強化
- 思想と現実との間の課題ができるのか?

**ポイント**

- 中国は非先進国の代表として西側に対抗
- 首脳会談では関係管理と意思伝達が重要
- 日本は競争の時代を意識し独自性発揮を

「米中対立／新冷戦」論の死角

# 自画像

## ユーラシアの

先進国の視点では見えない世界のダイナミズム

川島真 鈴木絢女 小泉悠 編著 池内恵 監修

PHP 定価: 2,090円(10%税込)

米中対立の行方 「戦狼外交」との関係管理、難題, 経済教室, 日本経済新聞 (2023.11.9)

「米中対立／新冷戦」論の死角

# 自画像

## ユーラシアの

先進国の視点では見えない世界のダイナミズム

川島真 鈴木絢女 小泉悠 編著 池内恵 監修

PHP 定価: 2,090円(10%税込)

ユーラシアの自画像「米中対立／新冷戦」論の死角、PHP出版(2023/3/25)



白井さゆり氏

略歴

1993年コロンビア大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士(Ph.D.)。アジア開発銀行研究所サステナブル政策アドバイザー。野村サステナビリティ研究センターと日清オイリオグループのアドバイザー。2020-2021はイギリス系 Federated Hermes 上級顧問。日本銀行政策委員会審議委員(2011-2016)、慶應義塾大学助教授・教授(1998-2011)、パリ政治学院客員教授(2007-2008)、元国際通貨基金(IMF)エコノミスト。2023年11月にアジア開発銀行と共同でアセアン+日中韓の規制当局で構成するClimate Finance Monitoring Dialogueを創設。

専門は金融政策、マクロ経済、国際金融、気候ファイナンス、グリーン金融政策など。『SDGsファイナンス』(2022年、日経BP)、『カーボンニュートラルをめぐる世界の潮流～政策・マネー・市民社会』(2022年、文真堂)ほか英語の著作など多数。オフィシャルホームページURL: http://www.sayurishirai.jp/

気候政策を支援する金融 市場拡大へ共通基準設定を

トランジションファイナンスに関する主なアプローチ

1. 15年度脱炭素経路の策定	SBTiインシテチアス、気候債券イニシテチアス(CB)など
2. 世界共通の標準の設定(詳細・セメントなど)	IEAなど
3. 国別ロードマップの作成	日本
4. タクソノミーの下でトランジション活動の分類	EU
ガス・増資は増減・時限など条件付き賛成	シンガポール、ASEAN 等による
5. 国別・基準設定前提による環境の認証基準(3ヶ月の)策定	グリーン債などの報告原則にスコア
6. 国別市場協定など追加情報開示を奨励	国際資本市場協会(ICMA)
7. 15年度脱炭素経路の策定から「適合」トランジションシナリオの付与	CBI
8. 金融部門によるトランジションファイナンスのアプローチ	グラスゴウ金融同盟
9. 15年度脱炭素経路やベンチマークを以て	グラスゴウ金融同盟
10. 予想排出削減量の算定を奨励	GFANZ事務局
11. 石炭火力発電の早期フェーズアウト	GFANZ事務局等

ポイント

- 企業間でデータや移行計画の開示にアレル互換性を高め、金融市場の分析にアレル
- アジア域内で関連政策進捗の情報交換必須

SDGsファイナンス 白井さゆり

カーボンクレジット、サステナブル・サプライチェーン、ブレンデッドファイナンス——

拡大・進化を続ける新しい流れに乗り遅れるな!

日経プレミアシリーズ

SDGs Sustainable Development Goals

SDGsファイナンス 白井さゆり

カーボンクレジット、サステナブル・サプライチェーン、ブレンデッドファイナンス——

拡大・進化を続ける新しい流れに乗り遅れるな!

日経プレミアシリーズ

2024. 5. 7

# 5月例会

日時 令和六年五月七日(火)

テーマ 変容するインドネシア

講師 跡見学園女子大学 文学部 教授

小川忠氏

## ■ 略 歴

2012年早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程修了。博士(学術)。国際交流基金を経て2017年より現職。専門は国際関係、東南・南アジア研究、文化交流政策。主な著書に『インドネシア』(岩波新書)、『ヒンドゥー・ナショナリズムの台頭』(NTT出版)、『インド 多様性大国の最新事情』(角川選書)、『原理主義とは何か』(講談社現代新書)、『テロと救済の原理主義』(新潮選書)、『戦後米国の沖縄文化戦略』(岩波書店)、『インドネシア イスラーム大国の変貌』(新潮選書)、『自分探しするアジアの国々』(明石書店)など。

小川忠氏



小川忠  
Tadashi Ogawa



# 変容するインドネシア

昔のインドネシアではない。日本人が知ろうとしないだけだ。霊鳥ガルーダはどこへ翔ぼうとしているのか。

めこん

変容するインドネシア、めこん (2023/12/10)

講談社選書メチエ



780

# 逆襲する宗教

パンデミックと原理主義

小川忠  
Ogawa Tadashi



MÉTIER

逆襲する宗教 パンデミックと原理主義、講談社 (2023/2/9)